

「消防ホースを活用したボートカバーの作り方」

1 作成方法

(1) 必要な物品

消防ホース 4 本 (50mm 及び 65mm を各 2 本)、A 3 用紙 22 枚、カッターナイフ、ガムテープ、直径 4 mm 程度のロープ (以下「パワーコード」という。)、スケール、ポンチ、金槌、カラビナ

(2) 型枠の作成

同HP内の「ボートカバーの型枠 (設計図付)」から、型枠を A 3 用紙で印刷 (22 枚) し、用紙をテープで貼り合わせた後に切り出し型枠を作成する。(写真 1 参照)

(3) 消防ホースの加工

ア 消防ホース (50mm、65mm) の結合金具をカッターナイフで切断する。

イ 消防ホースの片側の折り目をカッターナイフで切断し展開する。

ウ 展開した 50mm 消防ホースは、1.5m ごとに切断し、16 本作成 (以下「A 帯」という。) する。(図面 1 参照)

エ 展開した 65mm 消防ホースは、3.5m ごとに切断し、10 本作成 (以下「B 帯」という。) する。(図面 2 参照)

オ A 帯及び B 帯ともに縫い代を 2 cm として、10cm 間隔で直径 5 mm の穴をあけ、縫い穴を作成する。(写真 2 参照)

(4) 消防ホースの切り出し

A 帯の縫い穴を重ねてガムテープで貼り合わせ、作成した型枠どおりに切り出す。(写真 3、4 参照)

(5) 消防ホースの縫い方

ア 切り出した A 帯及び B 帯をパワーコードで並縫いし 2 つのシートを作成する。(以下「船首シート」、「船底シート」という。)(写真 5、6、7 参照)

イ 船首シートは、ベルトループを作成する。(写真 8 参照)

(6) 補助ロープの設定

船首シートはベルトループに、船底シートは写真の点線箇所にパワーコ

ードを通し、船体に密着させるための補助ロープとして設定する。また、補助ロープの両端にカラビナを取り付ける。(写真9、10参照)

2 取り付け方法及び保管方法

(1) 取り付け方法

補助ロープに取り付けたカラビナを、ゴムボート上部のハトメにかける。
(写真11参照)

(2) 保管方法

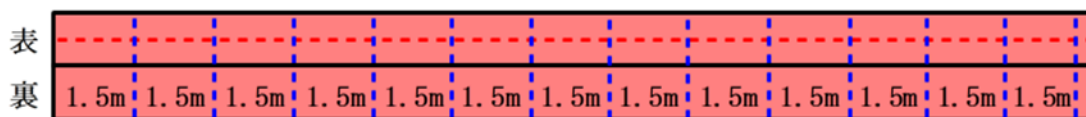
ゴムボートを膨らませた状態で積載する場合は、ボートカバーをゴムボートに装着した状態で保管できる。

折りたたんで積載する場合でも、ボートカバーを取り付けた状態で折りたたみ収納することができる。

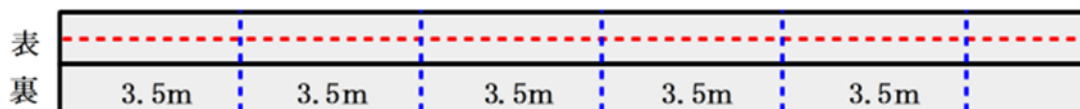
3 写真及び図面



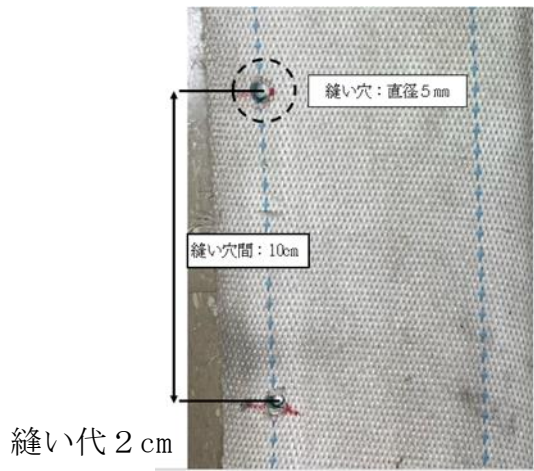
「写真1 型枠の切り出し」



「図面1 50mmホース「A帯」の作成」



「図面2 65mmホース「B帯」の作成」



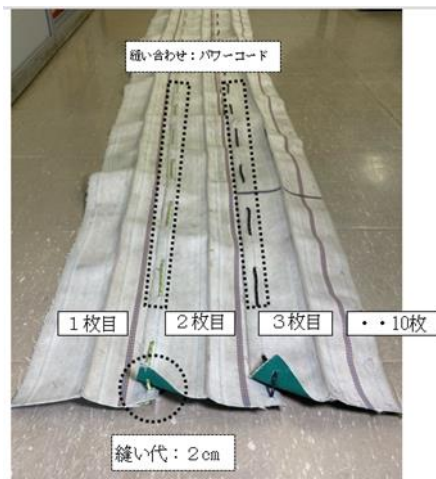
「写真2 縫い穴の作成」



「写真3 「A」帯貼り合わせ」



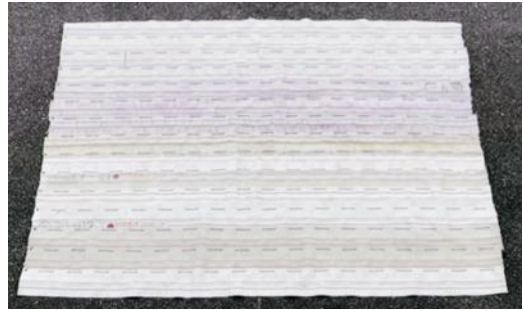
「写真4 型枠を「A帯」に書き出した後に切り出し」



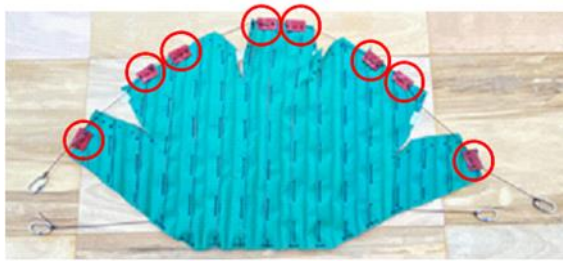
「写真5 縫い合わせ方」



「写真6 船首シート」



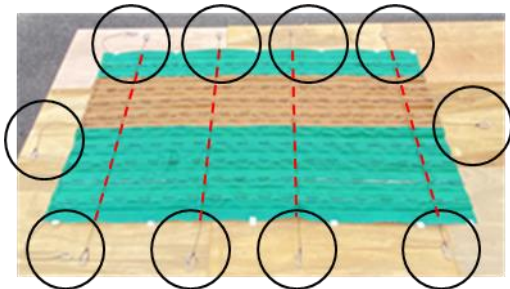
「写真7 船底シート」



「写真8 ベルトループの作成」



「写真9 船首補助ロープの設定」



「写真10 船底補助ロープの設定」



「写真11 ハトメ取り付け位置」